

經一法なり。善無畏三藏・金剛智三藏・不空三藏等讀云、大日經と法華經とは理同、を
なく六難の内の經なり。日本の弘法讀云、大日經は六難九易の内にあらず。大日經
は釋迦所説の一切經の外、法身大日如來の所説なり。又或人云、華嚴經は報身如來の
所説、六難九易の内にはあらず。此四宗の元祖等かやうに讀ければ、其流をくむ數千
の學徒等又此見をいでず。日蓮なげいて云、上諸人の義を左右なく非なりといわば當
世の諸人面を向べからず。非に非をかさね、結句は國王に讒奏して命に及べし。但我
等が慈父、雙林最後御遺言に云、依法不依人等云云。不依人等者、初依二依三依・第
四依。普賢・文殊等の等覺の菩薩法門を説給とも經を手ににぎらざらんをば用べから
ず。依了義經不依不了義經と定て、經の中にも了義・不了義經を糺明して信受すべ
きこそ候ぬれ。龍樹菩薩の十住毘婆沙論云、不依脩多羅黑論・依脩多羅白論等云云。
天台大師云、與脩多羅合者錄而用之、無文無義不可信受等云云。傳教大師云、依
憑佛說莫信、口傳等云云。圓珍智證大師云、依文可傳等云云。上にあぐるところの
諸師の釋、皆一分々經論に依て勝劣を辨やうなれども、皆自宗を堅信受し先師の謬
義をたださざるゆへに、曲會私情の勝劣なり。莊嚴己義の法門なり。佛滅後の犢子・方